

平成28年度

事業計画並びに

一般会計収入支出予算書

事業計画

1	平成28年度 事業計画	・・・1
I	福祉啓発	・・・3
II	個人の自立支援	・・・4
III	地域の福祉力向上	・・・7
IV	ボランティア活動の推進	・・・10
V	信頼される組織運営	・・・13
2	横浜市社協長期ビジョン2025 中期計画	・・・15

一般会計収支予算書

3	平成28年度一般会計予算の状況	・・・17
4	平成28年度 資金収支予算総括表	・・・18

平成28年度 横浜市港北区社会福祉協議会 事業計画

1 事業推進方針

平成28年度は、介護保険法改正に伴う介護予防・日常生活支援総合事業、生活支援体制整備事業が始まり、介護と医療そして地域が連携して支援の必要な人を支える地域包括ケアシステムの推進における区社協の役割がさらに求められる年になります。

また、横浜市社協長期ビジョン2025、中期計画の3年目を迎えるとともに、港北区福祉保健計画「ひっとプラン」の第3期計画がスタートする年となり、地域課題の解決に向けて区計画の推進と地区計画への支援を着実に進める必要があります。

このような状況を踏まえ、本会がこれまで取り組んできた地域支援と個別支援の融合を目指した取り組みや多くのみなさまからなる会員組織としてのネットワークを活かし、行政や地域ケアプラザとの連携をさらに深め、時代の変化に応じた「身近な地域のつながり・支えあい」がさらに推進できるよう取り組みます。それらを通して「誰もが安心して健やかに暮らせるまち港北」の実現を目指します。

2 重点事業

[重点事業1] 身近な地域の生活支援体制整備に向けた対応

【実施内容】

取組概要	具体的な取組
個別の生活課題の解決を通じた地域支援の取組のため、小地域での身近な地域のつながり・支えあい活動を拡大し、地域支援を展開します。	1 個別（狭間）ニーズの把握から地域における支援の仕組みづくりの推進 2 事業担当、地区担当、生活支援コーディネーターの連携強化
取組概要	具体的な取組
地区社協の中間支援機能の推進を図り、地区社協活動・小地域での支えあい活動の支援を強化します。	1 配食、サロン、支え合い型ボランティア活動など生活支援型活動の支援の推進 2 地域の小さな活動を把握し、発展させる取組の推進

[重点事業2] 地域ケアプラザとの一体的地域支援

【実施内容】

取組概要	具体的な取組
アセスメントシートや地区活動チェックシート等のツールを活用した地区状況、地域活動の実態把握を進め、地区支援の強化に向けて地域ケアプラザと一体的に取り組めます。	1 ケアカンファレンスや地域ケア会議へ参画 2 地区社協チェックシートの充実・活用 3 区社協の地域支援における役割・機能の強化

【重点事業3】 ボランティアセンター機能の強化

【実施内容】

取組概要	具体的な取組
区社協ボランティアセンターの区内ボランティアコーディネート機能、役割を強化します。また、コーディネート機関・団体等との連携を促進します。	1 地域ケアプラザやコーディネート機関・団体等との連携促進 2 コーディネート機関・団体の連絡会の開催

【重点事業4】 第3期港北区福祉保健計画の推進

【実施内容】

取組概要	具体的な取組
港北区福祉保健計画「ひっとプラン」第3期計画（平成28年度～32年度）の初年度であり、着実に計画を推進します。	1 区域計画における社協の取組（地区活動・活動団体支援、担い手育成、ネットワーク促進等）の推進 2 地区計画推進支援

【重点事業5】 障害児・者外出支援 移動情報センターの強化

【実施内容】

取組概要	具体的な取組
「移動情報センター」の、より一層の充実を図ります。そのため、地域・団体等への啓発・理解促進の取組を推進します。	1 ガイドボランティア登録事務への対応と人材育成 2 事業所連絡会の開催による、情報共有と新規事業所の開拓

上記の重点事業を具体的に進めるために「Ⅰ 福祉啓発」「Ⅱ 個人の自立支援」「Ⅲ 地域の福祉力向上」「Ⅳ ボランティア活動の推進」「Ⅴ 信頼される組織運営」の5本柱で本会事業を進めてまいります。

3 事業計画

I 福祉啓発

1 区社協ホームページの運用【転換】 ＜中期計画 5-1＞ ＜ひとと とどく-1＞ 区社協ホームページにより情報を発信します。 内容更新を随時行い、地区社会福祉協議会の活動、ボランティア募集情報等を一般に向けて情報発信します。さらに、活動や事業等に関するお問い合わせの電子メール受付を行います。 また、アクセシビリティへの配慮等を含めた情報発信体制の見直しを行います。 【ホームページアドレス】 http://www.kouhoku-shakyo.jp/ 【電子メールアドレス】 hokuhoku@kouhoku-shakyo.jp	単位:千円 〔 〕前年度予算額 1,410〔650〕 (共同募金)1310 (指定管理料)100
2 広報紙「ふくしのまど」「ボランティアセンター通信」の発行 ＜中期計画 5-1＞ ＜ひとと とどく-1＞ 地域の福祉活動・区社協事業・ボランティアセンター情報を広報紙「ふくしのまど」を通じ、地域新聞を媒体として定期的に広報します。地域新聞発行地域外については、増刷して自治会、町内会回覧で情報提供していきます。 発行予定:年4回【7月・10月・1月】 特別号としてひととプランの周知を1回行います。 発行部数:67,500部/回 配布先:地域新聞に掲載(新聞折込)、拠点窓口、地域ケアプラザ窓口等	単位:千円 〔 〕前年度予算額 2,498〔2,681〕 (共同募金)2,198 (指定管理料)300
3 区社協リーフレットの活用 ＜中期計画 1-2＞ ＜ひとと とどく-1＞ 区社協リーフレットを配布して、より効果的・より住民に届く福祉啓発活動を進めます。	単位:千円 〔 〕前年度予算額
4 港北ほくほくフェスタ・社会福祉大会の開催 港北区役所との共催事業として、地域福祉のより一層の発展に寄与するため、港北ほくほくフェスタを開催します。開催にあたっては各種福祉保健活動団体の協力を得ながら進めていきます。 また、会長顕彰規程に基づき地域福祉功労者の表彰状、感謝状の贈呈を行います。 開催時期:平成28年10月28日(金) (予定) 開催場所:港北公会堂 内 容:社会福祉大会【表彰式典】・区民フォーラム【地域活動の発表等】	単位:千円 〔 〕前年度予算額 611〔511〕 (共同募金)611
5 子育て応援情報サイト、情報地図「ココマップ」による情報提供 ＜中期計画 1-2＞ ＜ひとと とどく-1＞ NPO法人びーのびーのと協働し、港北区内の子育て支援に関する情報を一元的に情報マップ(紙版)、ホームページを通じて提供します。 ◆ブログを通じたタイムリーな情報提供(ホームページ) ◆子育て応援マップ「ココマップ」改訂版の作成と配布 ◆編集委員会の開催 【ホームページアドレス】http://www.kouhokushakyo.or.jp/	単位:千円 〔 〕前年度予算額 1,225〔976〕 (共同募金)1,225

4 ボランティア・市民活動分科会の開催 <ひっと つながる-2>	単位:千円 ()前年度予算額
分科会員が主体となって、ボランティア・市民活動分科会新聞を発行します。また、ボランティア活動者のスキルアップやボランティア活動の啓発に関する勉強会・講座を開催します。 28年度は「発信」にも力を入れ、子育て世代など若い住民へ情報が届く仕組みをつくり、分科会のPRにつとめます。	V-2 掲載
5 港北区災害ボランティア連絡会の運営 <中期計画 5-11> <ひっと とどく-3>	単位:千円 ()前年度予算額
港北区災害ボランティア連絡会の事務局として、災害ボランティアコーディネーターの育成、災害ボランティア活動の普及・啓発に協力します。 (1) 災害ボランティア連絡会定例会(8月以外月1回開催) (2) 災害ボランティアシミュレーション (3) 災害ボランティアセミナー (4) 施設見学 (5) 災害ボランティア連絡会ニュース(毎月発行) (6) 青葉区、都筑区、緑区、港北区の4区でブロック会議の開催(4か月に1回開催)	74[74] (市社協補助金)40 自主財源34
6 善意銀行の運営	単位:千円 ()前年度予算額
区内の福祉活動・市民活動を支援する貴重な財源として有効に活用します。また、指定配分廃止にともない、使い道についてよりいっそうわかりやすい周知とPRに努めます。	2,000[2,000]

Ⅱ 個人の自立支援

1 港北区社協あんしんセンター事業の実施 <中期計画 2-1、2-3> <ひっと とどく-1、2>	単位: 千円 () 前年度予算額
高齢の方や障がい者など新規相談者への相談の充実を図ると共に、サービス利用者に対するきめ細やかなサービス提供を行うことで、利用者の自立生活を支援します。 地域包括支援センター連絡会社会福祉士分科会や港北区事業所連絡会「ガンバ港北」に参画、また市民後見人の養成と活動支援を図るため、成年後見サポートネット事務局として全体会、分科会を開催し、権利擁護のネットワーク充実を図ります。 また、成年後見サポートネット参画行政書士と連携しての無料相談会の開催や、高齢者シニア大学、居宅介護支援事業所・施設などへの事業説明を行い、利用者の開拓を図ると共に、制度を周知します。 【利用対象】①概ね65歳以上の高齢者 ②成年で障がいのある方(身体・知的・精神) 【サービス内容】①総合相談②金銭管理・定期訪問③預金通帳など財産関係書類の預かり 【関係機関との連携】 ①成年後見サポートネット 全体会・分科会の開催 ②地域包括支援センター連絡会社会福祉士分科会および主任ケアマネジャー連絡会への参画 ③港北区事業者連絡会「ガンバ港北」への役員参画 【利用者開拓】 ①区役所・地域ケアプラザとともにコスモス成年後見サポートセンター県支部横浜東地区行政書士との巡回無料相談会の開催 ②高齢者シニア大学での講師協力・出張説明 ③港北区独自で製作したチラシや事例集を使用し、関係機関へ制度を広報周知	413[471] (市社協委託料)114 (利用料収入)299
2 要援護者移送サービス事業の実施 <中期計画 5-7> <ひっと とどく-1>	単位: 千円 () 前年度予算額
公共交通機関の利用が難しい在宅の高齢者、難病患者、障がい者等を対象とする外出支援サービスを行うことで、通院等の日常の外出を支援します。 ※要 事前登録 運転ボランティア定例会の開催(隔月): 利用者の状況確認や情報共有などを目的に開催 利用方法: 利用希望日の1か月～1週間前までに電話で申込み 利用範囲: 原則横浜市内および川崎市中原区 利用時間: 月曜日～金曜日 9:00～16:00 利用回数: 1週間に1回まで キャンセル料: 当日キャンセルの場合、片道、往復問わず1日500円	4,264[4,724] (利用料収入)997 (市社協委託料)2,950 (賛助会費)317
3 障がい者余暇支援事業の実施 <中期計画 3-7> <ひっと ひろがる-1>	単位: 千円 () 前年度予算額
外出を中心とした余暇プログラムを通じて、障がいのある方の生活圏の拡大を図ると共に障がいの有無を超えた仲間作りを進めます。昨年度に引き続き、青年ボランティアグループ「GIFT」の育成と自立を支援します。 余暇活動プログラム: 6月～8月 参加者: 障がい者・ボランティア・施設職員等 港北なつとも(港北区学齢障がい児支援事業)への参加	100[120] (共同募金)100

4 障がい児・者のための外出相談室 「おでかけGO!港北」の充実【重点】	<中期計画 5-6> <ひっと つながる-2>	単位:千円 ()前年度予算額
障がいのある方の移動を支援する情報・相談の拠点として、移動手段の情報入手が難しいという現状を解決するため、的確な情報を提供します。また、相談内容を分析、移動に関する課題を明らかにし、その課題解決のための事業に取り組みます。 (1) 相談窓口の強化 ◆地域のボランティアやガイドヘルパー、介護タクシー等の移動情報を収集し、相談者に的確な対応をしていきます。 ◆障がいのある方が相談しやすいようPRに努めます。 ◆スムーズに支援機関と協力体制がとれるよう、連携していきます。 (2) 移動支援提供者の連絡会の実施 ◆関係機関との情報共有と地域のネットワーク作りに必要な仕組みを構築します。 ◆ヘルパー事業所や介護タクシー事業所等との連絡会を開催するとともに事業所を開拓します。 (3) 地域への啓発 ◆障がい理解を目的に、地域へ向けて出張研修を実施します。 ◆地域で活動しているガイドボランティアとの座談会を開催します。 ◆ニーズが高い通学・通所送迎に関して地域と協力し、ボランティア育成を進めます。 (4) 横浜市ガイドボランティア事業の実施 ◆障がいのある方や、難病患者の方が外出するときに付添うボランティアの登録業務を行います。		11,303[8,455] (市委託金)7,553 (賛助会費)3,000 (横浜市ガイドボランティア事業補助金)750
5 在宅福祉分科会の開催	<中期計画 4-1> <ひっと ひろがる-2>	単位:千円 ()前年度予算額
年齢や障がいの有無を問わず、支援を必要としている人が在宅で安心して暮らしていくために、福祉・保健・医療分野のフォーマルサービス・インフォーマルサービスが連携して支援していくための仕組みづくりを検討します。		V-2 掲載
6 障がい者セーフティネット分科会の開催	<中期計画 3-5> <ひっと ひろがる-1>	単位:千円 ()前年度予算額
「障がい理解の促進」と「障がい当事者と地域とのつながり」を柱とした事業展開を図ります。参画者で必要のある活動を整理し検討した、下記のテーマに基づいて活動を進めます。 ◆「地域防災拠点に参加して障がい児者の受入について考えてもらおう！」 ◆「障がい理解のための啓発活動をとおして、共に障がいを知ろう！」 今年度は、新たに作成したリーフレットを活用し、地域防災拠点へ働きかけ、障がい当事者受入について検討の機会を広げます。また、定例開催の分科会等において、各分野の障がいについて理解促進のための発信をする場を設けます。		V-2 掲載
7 保育所分科会の開催	<中期計画 4-1> <ひっと ひろがる-2>	単位:千円 ()前年度予算額
公立・私立の枠を超えたネットワークを活かして、子育てを巡る諸課題解決の場とします。また、地域と連携した地域で子育てを考える機会を設けます。 ◆分科会活動として各園による情報交換、研修会を年6回開催します。 ◆「わくわく子育て広場」への支援を行います。		V-2 掲載
8 各種ネットワークへの参画		単位:千円 ()前年度予算額
様々な支援機関、団体のネットワークに参画して協働して支援を行う体制をとります。 (1) 港北区自立支援協議会 (2) 港北区地域作業所連絡会 (3) こうほく高次脳機能ネットワーク (4) 港北区事業者連絡会「ガンバ港北」 (5) 港北成年後見サポートネット (6) 港北区地域包括支援センター連絡会社会福祉士分科会 (7) 港北区高齢者虐待防止連絡会		

9 生活福祉資金貸付事業の実施	<中期計画 1-5、5-8> <ひとと とどく-2>	単位:千円 ()前年度予算額
必要な世帯に支援が届くように、円滑に事務を進め生活困難者を支援します。また、生活困窮者自立支援制度の所管との連携も引き続き図っていきます。 ◆相談支援 相談者の状況に応じて必要な制度の提供や相談支援を実施するため、相談員の研修を実施するとともに区役所やハローワーク等と連携を更に進めます。		4,249[4,149] (県社協委託料) 3,949 (自主財源)300
10 障がい者自立生活セミナーの開催	<ひとと つながる-2>	単位:千円 ()前年度予算額
障がい当事者が自身の生活をふり返り、今後の社会生活について考え、選択していく力を引き出すためのきっかけの場として、セミナーを開催します。		97[100] (共同募金)97

Ⅲ 地域の福祉力向上

1 「ひっとプラン港北」の推進【重点】 ＜中期計画 1-4＞ 平成28年度から32年度の5か年計画である「ひっとプラン港北」(第5次地域福祉活動計画と行政計画である第3期地域福祉保健計画を一体的に策定した計画)を推進します。 区役所と共同事務局となり、地域ケアプラザと連携しながら、区内13地区別計画が、住民を主体として進められるよう、地域の実情に応じたサポートを行います。 地区別計画推進のサポートの他、区全体計画の推進を行います。 (1) ひっとプラン港北推進委員会の開催 (2) 地区計画事務局会議の開催 (3) 小地域でのボランティア育成講座の実施・・・ボランティアセンター(再掲) (4) 移動情報センター運営の推進・・・おでかけGO港北(再掲)	単位:千円 〔 〕前年度予算額 1,980〔2,280〕 (市社協補助金)180 (共同募金)1,800
2 みんなの居場所支援 ＜ひっと つながる-1＞ 「みんなの居場所」がより地域住民の居場所として活用されるよう支援を行います。また、合わせて居場所支援の経過をまとめ、今後の地域の拠点づくりの支援方法を考えていきます。 (1) 大倉山地区みんなの居場所(大倉山地区) (2) ふらっと高田(高田地区) (3) コミュニティハウス ホットカフェ(城郷地区)	単位:千円 〔 〕前年度予算額
3 身近な地域における生活支援体制整備【重点】 ＜中期計画 1-1,1-2＞ ＜ひっと ひろがる-2、とどく-2＞ 支援を必要とする方々が地域とのつながりの中で安心した生活を送っていけるよう、新たに生活支援コーディネーターを配置し、各地域ケアプラザ等と協力し、地域情報の把握や社会資源の開発、ネットワーク構築等を行います。 また、生活支援の体制整備にあたっては、住民主体の福祉活動団体やNPO法人、事業所、企業等様々な団体が主体的に取り組み、活動に参加する地域を目指すとともに、「支えあいの地域づくり」を進めます。 (1) 「個別ケース会議」「地域ケア会議」「定例カンファレンス」への参画 各地域ケアプラザで行われる「個別ケース会議」や「定例カンファレンス」等を通して、地域のニーズや社会資源の情報を把握・整理し、分析を行います。 (2) 地域アセスメントシートの拡充 人口構成や要介護認定者等数値データや地域の成り立ちおよび地域資源等の情報を整理したアセスメントシートに、地区社協支援を通じて得た情報も反映し拡充します。また、地域ケアプラザや区役所ともに、支援の方向性について共有化を図ります。 (3) ネットワーク構築 地域ケアプラザ等に配置される生活支援コーディネーターと協働し、連絡会の開催等を通じて情報共有を図り、支援者間のネットワークづくりを進めます。	単位:千円 〔 〕前年度予算額 440〔0〕 (市社協委託料)200 (市社協補助金)200 (共同募金)40

4 地域ケアプラザとの一体的な地域支援【重点】 <中期計画 1-1,1-2> <ひっと とどく-1>	単位:千円 ()前年度予算額
身近な地域のつながり・支えあい活動をより推進するために、一人ひとりの生活に向き合い、その課題の解決にむけて、住民による小地域福祉活動の更なる推進に、地区社協支援、あんしんセンター事業、ひっとプラン港北地区別計画推進支援などの事業面と、13地区別支援面との縦横で、地域ケアプラザと連携を強化し取組みます。 (1) 篠原地域ケアプラザとのモデル事業の企画実施 篠原地域ケアプラザとともに篠原地区内の生活課題を住民が早期発見対応、日常の見守りに結び付けられるように取組みます。 (2) 地域ケアプラザ「地域ケア会議」「定例カンファレンス」への参画 日常生活圏域で地域支援・個別支援する地域ケアプラザとともに、個々人の生活課題の軽減、解消のための方針や具体的活動について区域のネットワーク・強みを活かして協働します。 (3) 地域アセスメントシートの拡充 人口構成や要介護認定者等数値データや地域の成り立ち、社会資源の特徴を把握し、情報を整備しているアセスメントシートを、「地区活動チェックシート」「懇談会」など地区社協支援を通じて得た情報も反映し拡充します。また区社協・地域ケアプラザの支援の方向性の共有化、地域課題の解決方法の検討をしていきます。 (4) 地域ケアプラザコーディネーター連絡会の開催と研修会の実施 区内9地域ケアプラザ地域交流担当コーディネーターの事務局として、年間計画、会場確保、関係会議の役割分担などの進行管理をするとともに、理解・連携を密にし課題解決に協働で取組みます。また、地域支援にかかるスキルアップ・ネットワークづくりを目的に、コーディネーターを主な対象にした研修会を開催します。 (5) 地域ケアプラザ4職種全体会の開催支援、ケアプラザ包括連社会福祉士分科会への参画	280〔150〕 (共同募金)280
5 港北みんなの助成金による活動支援 <中期計画 1-2> <ひっと ひろがる-2>	単位:千円 ()前年度予算額
「港北みんなの助成金」を通じ、港北区内のボランティアグループ・当事者活動・介護予防活動等の支援を行います。また、昨年度に引き続き団体へのヒアリングを行い、助成団体からの要望を伺うことで今後の支援につなげていきます。 ◆助成規模 23,400千円	24,210〔23,971〕 (市社協補助金) 12,512 (共同募金)3,410 (年末たすけあい) 7,288 (善意銀行)1,000

6 地区社会福祉協議会の支援【重点】	<中期計画 1-3、5-2> <ひっと つながる-1>	単位:千円 〔 〕前年度予算額
地域住民に一番身近な地区社協事業の標準化と強化、住民の方々に信頼される地区社協運営の適正化を図り、地区社協の福祉活動を安定的・継続的に行う・活動の質を高める事業を行うとともに、「地域住民とともに取り組む福祉のまちづくり」の具現化に向けて、地区社協活動支援を引き続き行っていきます。		17,218(26,475) (正会費)50 (賛助会費)16,443 (共同募金)75 (市社協補助金)650
(1)地区社協分科会の開催 ◆会長・事務局長合同会議(年5回) 区社協から地区社協へ組織的に依頼する機会、地区社協支援の方向性の確認の機会とします。「ひっとプラン港北」地区別計画推進の進捗状況の報告なども行います。 ◆事務局長会議(年4回) 地区社協が抱える様々な課題を解決していくための具体策と、それを実践するための検討をする機会とします。 (2)「地区活動チェックシート(第2版)」の運用 「地区活動のチェックシート」を事業内容と経年変化が見える様式を継続利用し、事業分布等の分析を行います。 (3)「地区活動チェックシート」に基づく地区社協ヒアリングの実施 「地区活動チェックシート」(旧地域力検定)を活用して、地区社協の運営全般や事業についてヒアリングを行い、課題の共有等を通して地区社協の力量強化と区社協との連携強化を図ります。 (4)地区社協研修の実施 ◆地区社協役員 新任研修 地区社協の新役員が揃う6月頃に、募金や会費の意義目的や流れ、分科会、予算・決算との関連などについての研修を行います。 ◆地区役員 フォローアップ出張研修 当該地区の課題や求めに応じた内容の研修を地域に出向いて実施します。 (5)地区社協役員と区社協事務局との懇談会 地区の次年度の方針をヒアリングし、その支援と区社協事業への反映を目的に1～2月にかけて実施します。 (6)「地区社協啓発リーフレット」の配布 13地区毎に作成したリーフレット(27年度更新)を活用し、地区社協の周知を行います。 (7)地区社協会員助成申請様式(港北モデル)の作成 13地区社協活動において、会員団体への活動助成に活用できる申請報告のモデル様式を作成し、賛助会費事業助成金や年末募金活動推進費といった主たる財源の理解啓発と透明化を図ります。 (8)助成金を通じた支援 ◆地区社協活動運営費(市社協補助金)の交付 ◆地区社協事業助成金(賛助会費)の交付 「地区活動チェックシート」ヒアリング結果と助成要綱に基づき助成金を交付します。 ◆地区社協活動推進費(年末たすけあい募金)の交付 年末たすけあい運動の募金より、地区社協の運営費・事業費を交付します。		
7 福祉保健活動拠点の運営		単位:千円 〔 〕前年度予算額
横浜市より28年度から32年度の5年間、港北区福祉保健活動拠点の指定管理者に指定されています。より公平・公正な利用・利用者ニーズに即した運営と、信頼される拠点運営を目指します。		16,496(13,433) (指定管理料) 15,969 (負担金収入)267 (市社協補助金)260
(1)利用調整会議の開催(年2回) (2)防災訓練の実施(年2回)		

IV ボランティア活動の推進

1 区社協ボランティアセンターの強化【重点】 <中期計画 3-7> <ひっと ひろがる-1>	単位:千円 〔 〕前年度予算額
ひっとプラン港北の柱「ひろがる」では、地域活動の担い手拡充を掲げています。体制を充実させ、区ボランティアセンター機能を強化します。 (1) ボランティアコーディネートの向上 これまで港北区ボランティア連絡会と協働で、活動実践者の視点を加えたコーディネート業務を行ってきましたが、センターの担う機能を強化することを目的に、28年度10月よりボランティアセンタースタッフを職員がつとめます。 チーフ3人によるアドバイスを受けながら、依頼の調整や相談の他、機関どうしをつないだり講座を開催するなど、「つなげる」「ひろがる」取り組みを強化していきます。 ◆コーディネーター定例会(事例検討)・勉強会開催 ◆チーフコーディネーターとの研修会(随時) ◆港北区ボランティアセンターの情報発信 ・毎月更新のニーズ情報発信【新規】 ・センター受付の情報ラックの整理【新規】 ・依頼者向けパンフレットの作成【新規】 ・福祉教育担当者と連携したボランティア講座の仕組みづくり【新規】 (2) コーディネート機関・団体の連絡会の開催 コーディネート機関・団体等との連携を促進し、連絡会を開催します。そこから得られた個別の事例を地域の課題としてとらえ、複数機関と協力しながらニーズの共有・解決に取り組みます。 ◆連絡会の開催(年1回)【新規】 (3) 西部方面ボランティアセンター「やすらぎの家」の運営 ①コーディネーター研修の実施、②ボランティア体験学習の実施、③ミニサロンの開催を柱に、【地域性を活かしたボランティアセンターづくり】をすすめる他、より一層のPRに努めます。 (4) ボランティアセンター運営委員会の開催 多様な立場の委員により、ボランティア活動の活性化と港北区ボランティアセンターの積極的運営を目的として開催します。(年2回) ◆協議内容 ボランティア登録者の拡充、事業の企画・立案・評価など (5) 目的、対象、ニーズに応じた入門・育成講座の企画・実施 ◆傾聴講座【9月実施予定】 福祉に関する活動を行っていく上では欠かせない傾聴・コミュニケーション技術の習得を目的として開催します。 ◆精神保健ボランティア講座【3月実施予定】 精神保健分野で活動するボランティアの育成講座を開催します。	2, 873(2,889) (指定管理料) 2,479 (善意銀行) 234 (市社協補助金) 40 (雑収入) 120
2 福祉教育の推進 <中期計画 3-1、3-2> <ひっと ひろがる-2、ひろがる-3>	単位:千円 〔 〕前年度予算額
学校の授業意図や取組み方法に迅速かつ柔軟に対応することで、区内福祉教育の質の向上を図ります。 (1) ボラリーグ★こうほくの実施 福祉教育の充実を図り、次世代の活動者を育成します。 ◆ボランティア体験講座の実施 子育て支援拠点「どろっぷ」との協働事業 協力: 区内子育てサロン、区内保育所、地域ケアプラザ等 ◆夏休みボランティア講座の実施(新吉田版)	122(123) (市社協補助金) 81 (共同募金) 41

(2) 福祉教育相談調整機能の充実 福祉の体験学習に関する相談対応や協力者紹介などを円滑に進めます。 依頼者である教育機関のニーズに幅広くこたえとともに、区社協の福祉教育を周知していきます。 (3) 「先生のための福祉講座(市域)」の実施(市社協、18区社協の共催) 教員が、地域福祉や当事者への理解を深め、今後の学校教育に活かせる視点や手法等を修得することを目的として開催します。 (4) 福祉教育機材の貸出 福祉教育で使用する機材について貸出を行い、劣化した福祉機材について、補修または補充します。 (5) 企業とのネットワークづくり 地域貢献活動を行う企業とのネットワークづくりのため、アンケートによる実態調査を行います。また、企業と地域のつながりを作り、地域活動の活性化を図ります。	
3 ボランティアセンター広報・情報機能強化 ＜中期計画 3-7＞ ＜ひとと ひろがる-1＞ ボランティアセンター情報・ボランティア募集情報をはじめ区内福祉保健関係施設・団体の情報を提供することでボランティアセンター機能を住民に周知し、地域福祉活動への参加を促進します。 (1) 「ボランティアセンター通信」発行（再掲）※広報紙「ふくしのまど」参照 (2) 登録者向けボランティア募集情報の発信 登録者の情報更新を行うとともに、ボランティア募集情報を登録者へ送付し、ボランティア活動を促進します。また年1回の交流会・勉強会を通じてボランティア同士をつなげるとともに、活動者の現場の声を吸い上げてコーディネートに活かしていきます。 (3) ニード情報、活動団体情報の掲示【新規】 ボランティアセンター・福祉保健活動拠点内に各種情報をわかりやすく掲示して、情報提供していきます。地域の会議等で配布できるように、スタイルを変え毎月更新をめざします。 またセンター受付の情報コーナーを整理し、誰でも気軽に手に取れるようなわかりやすいものに更新していきます。 (4) ホームページを通じたボランティア情報の発信 区社協のホームページを通じてボランティア情報を発信することで、より多くの方が容易にボランティア情報を入手できるようにします。 (5) 区民活動支援センターと連携した情報発信 区民活動支援センターと連携し、日頃の情報共有につとめるとともに、区役所1階の掲示板にて、ボランティア募集情報の提供をしていきます。	単位: 千円 〔 〕前年度予算額 I-1, 2 掲載

4 ボランティア・市民活動分科会の開催 <ひと つながる-2>	単位:千円 ()前年度予算額
分科会員が主体となって、ボランティア・市民活動分科会新聞を発行します。また、ボランティア活動者のスキルアップやボランティア活動の啓発に関する勉強会・講座を開催します。 28年度は「発信」にも力を入れ、子育て世代など若い住民へ情報が届く仕組みをつくり、分科会のPRにつとめます。	V-2 掲載
5 港北区災害ボランティア連絡会の運営 <中期計画 5-11> <ひと とどく-3>	単位:千円 ()前年度予算額
港北区災害ボランティア連絡会の事務局として、災害ボランティアコーディネーターの育成、災害ボランティア活動の普及・啓発に協力します。 (1)災害ボランティア連絡会定例会(8月以外月1回開催) (2)災害ボランティアシミュレーション (3)災害ボランティアセミナー (4)施設見学 (5)災害ボランティア連絡会ニュース(毎月発行) (6)青葉区、都筑区、緑区、港北区の4区でブロック会議の開催(4か月に1回開催)	74〔74〕 (市社協補助金)40 自主財源34
6 善意銀行の運営	単位:千円 ()前年度予算額
区内の福祉活動・市民活動を支援する貴重な財源として有効に活用します。また、指定配分廃止にともない、使い道についてよりいっそうわかりやすい周知とPRに努めます。	2,000〔2,000〕

V 信頼される組織運営

1 信頼性のある事業経営 理事会・評議員会・部会・委員会の開催 地域福祉の推進を目的とする非営利団体としての認識を深め、地域に根ざした活動を推進し、また会員相互の連携・協働により組織運営を行います。 ◆理事会(年4回) ◆評議員会(年4回) ◆監事会(年1回) ◆部会 専門部会・地域部会・当事者部会・学識部会(各年1回程度) ◆委員会 ボランティアセンター運営委員会 ※Ⅳ-1 掲載 港北みんなの助成金審査会 ※Ⅲ-5 掲載 「ひとつプラン港北」推進委員会 ※Ⅲ-1 掲載 年末たすけあい配分委員会、業者選定委員会	単位:千円 ()前年度予算額 553[529] (正会費)523 (市社協補助金)30
2 組織体制の整備強化 ＜中期計画 4-1、4-2＞ ＜ひとつ ひろがる-2＞ (1)会員組織の拡充 会員メリットを打ち出し、正会員の拡充により区社協の組織基盤の強化を図ります。 ◆会員セミナーの開催 社会情勢等に応じた福祉保健・地域活動に関するテーマで講義・研修を行うことにより、活動への参考とするとともに、参加者のネットワーク構築に貢献します。 ◆会員向け情報発信(再掲) 正会員が定期的に事業情報を得られるよう、各種事業チラシ・案内類を送付します。 (2)分科会活動の活性化 ◆連合自治会町内会分科会 ◆民生委員児童委員分科会 ◆地区社会福祉協議会分科会 ◆保育所分科会 ◆在宅福祉分科会 ◆ボランティア・市民活動分科会 ◆障がい者セーフティネット分科会	単位:千円 ()前年度予算額 525[891] (正会費)525
3 苦情解決システムの充実 利用者が意見・要望を言いやすい、また利用者からの意見や要望を受け入れやすい環境をつくるとともに、苦情をニーズとして受け止め、利用者の権利擁護、事業・サービスの質の向上に努めます。 また、窓口満足度調査の実施やご意見箱の運用により、ご意見・要望等を聴取し、業務の改善に努めます。	単位:千円 ()前年度予算額 -
4 リスクマネジメントの推進 リスクマネジメントを職員間で徹底するとともに、事故等についての基本的な対応を明確にします。また、スケールメリットを活かし、事例による検討を行い、再発防止に努めます。	単位:千円 ()前年度予算額 -
5 情報公開・個人情報保護制度の運用 社会福祉法の理念に立ち、透明性の高い事業運営を行います。また、個人情報の適切な取り扱いを徹底して、信頼性の高い運営を行います。	単位:千円 ()前年度予算額 -

6 財政運営の適正化	単位:千円 ()前年度予算額
(1) 自主財源の安定確保 特色ある区社協活動を進めていくために、自主財源の確保に努めます。 賛助会員のさらなる増員を図るため、区社協広報紙「ふくしのまど」による定期的な賛助会費のPRを行います。また賛助会員証(ステッカー)を配布します。 ◆正会費 一団体5,000円 ◆世帯会費 ◆賛助会員運動 一口 2,000円 ◆善意銀行 ◆共同募金・年末たすけあい運動 (2) 社会福祉事業基金等の運用の適正化	1,083〔454〕 (賛助会費)1,083
7 職員の育成	単位:千円 ()前年度予算額
市社協内部研修やウィリング横浜などの研修に参加して、職員それぞれがもつ業務の専門性を高めるため、必要な知識、技術の研鑽に努めます。さらにMBOや人事考課制度を活用して、一人ひとりの職員が組織目標を認識して業務遂行していきます。(市社協人材育成計画に沿った職員育成) また、小地域支援を事業の柱とする区社協の職員に必要なスキルを高めるため、地区別・事業別業務ミーティングを月2回、内部研修を年1回開催します。	単位:千円 ()前年度予算額 -
8 法人運営事務の効率化	単位:千円 ()前年度予算額
(1) インターネットバンキングの活用 (2) グループウェアの活用 (3) 団体事務の効率化 【団体事務局】 神奈川県共同募金会港北区支会、日本赤十字社神奈川県支部港北区地区委員会、港北保護司会、港北区更生保護女性会、港北区遺族会、港北区「社会を明るくする運動」実施委員会	

横浜市社協長期ビジョン 2025 中期計画(H26～H30)

重点取組1 身近な地域のつながり・支えあい活動の推進

NO.	事業 NO.		事業名
1	重点	1-1	身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業
2	重点	1-2	地域の支えあい活動のための担い手育成
3		1-3	地区社協支援強化
4		1-4	区地域福祉保健計画(地区別計画)の推進
5		1-5	生活困窮者自立支援法への対応

重点取組2 地域における権利擁護の推進

NO.	事業 NO.		事業名
6	重点	2-1	権利擁護事業
7	重点	2-2	法人後見事業
8	重点	2-3	市民後見人養成・活動支援事業
9	重点	2-4	横浜市障害者後見的支援制度

重点取組3 幅広い福祉保健人材の育成

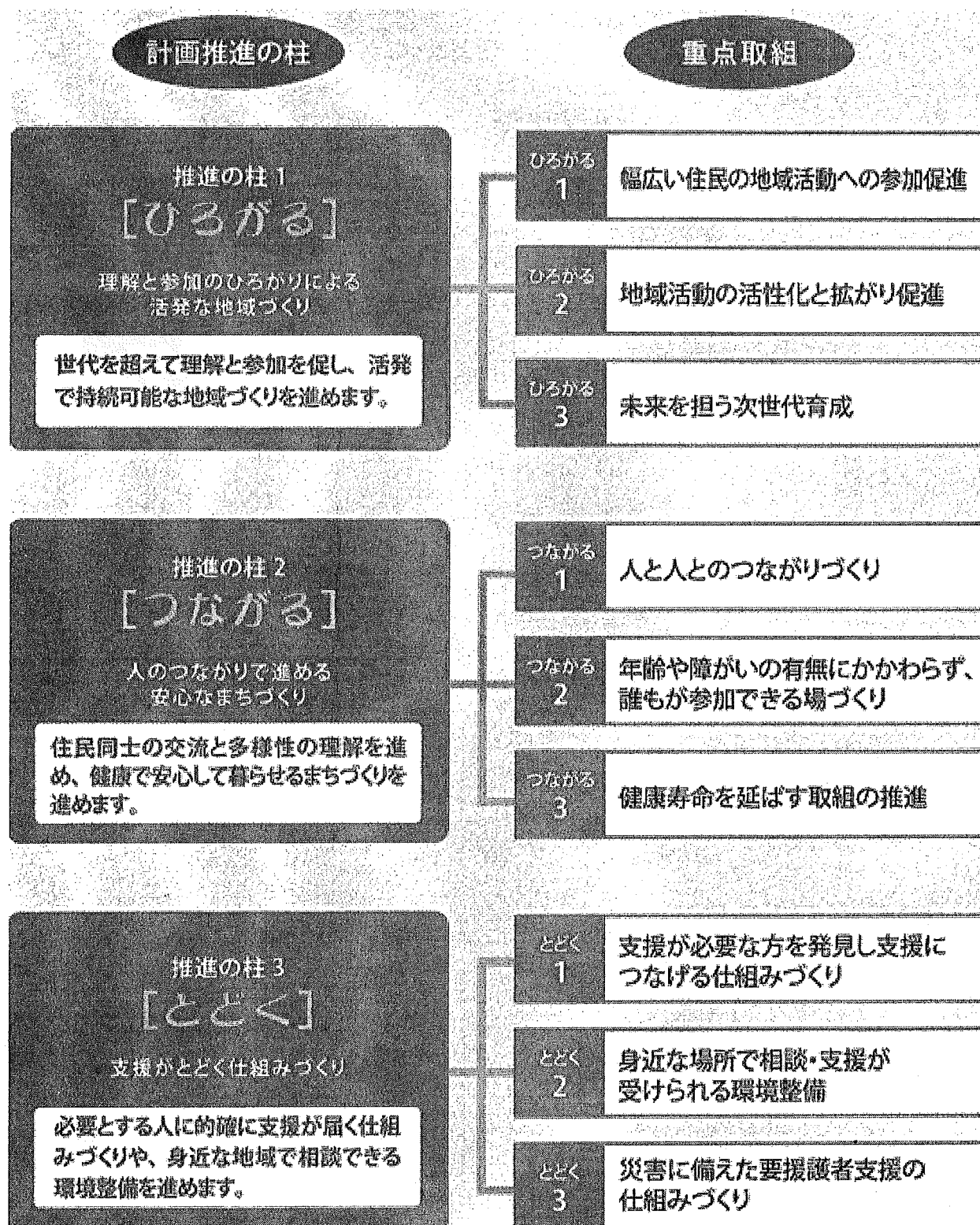
NO.	事業 NO.		事業名
10	重点	3-1	幅広い福祉教育(啓発)の実施
11	重点	3-2	企業の地域貢献活動の充実
12	重点	3-3	当事者の想いが実現できる地域づくり
13	重点	3-4	福祉保健従事者の育成
14		3-5	「セイフティーネットプロジェクト横浜」支援事業
15		3-6	地域福祉活動推進者の養成
16		3-7	ボランティア活動の推進・支援事業
17		3-8	福祉人材の確保支援事業

重点取組4 会員活動と地域福祉の推進

NO.	事業 NO.		事業名
18	重点	4-1	会員の拡充と連携による協議体としての機能強化
19	重点	4-2	市社協と区社協の部会(分科会)活動の推進
20	重点	4-3	部会を超えた課題解決の仕組みづくり

重点取組5 社協の発展に向けた運営基盤の強化

NO.	事業 NO.		事業名
21	重点	5-1	調査・研究・企画および広報機能の強化
22	重点	5-2	地域福祉活動財源確保の取組強化
23	重点	5-3	災害に備えた職員の配置体制や業務継続計画の整備
24		5-4	人事異動、人事考課、研修を含めた人材育成の推進
25		5-5	横浜市地域福祉保健計画の推進
26		5-6	移動情報センター
27		5-7	外出支援サービス(委託事業)
28		5-8	生活福祉資金貸付事業
29		5-9	効果的な助成金制度の構築・実施
30		5-10	市社協運営施設の機能強化
31		5-11	災害時のボランティアコーディネート機能の推進



平成28年度港北区社協一般会計予算の状況

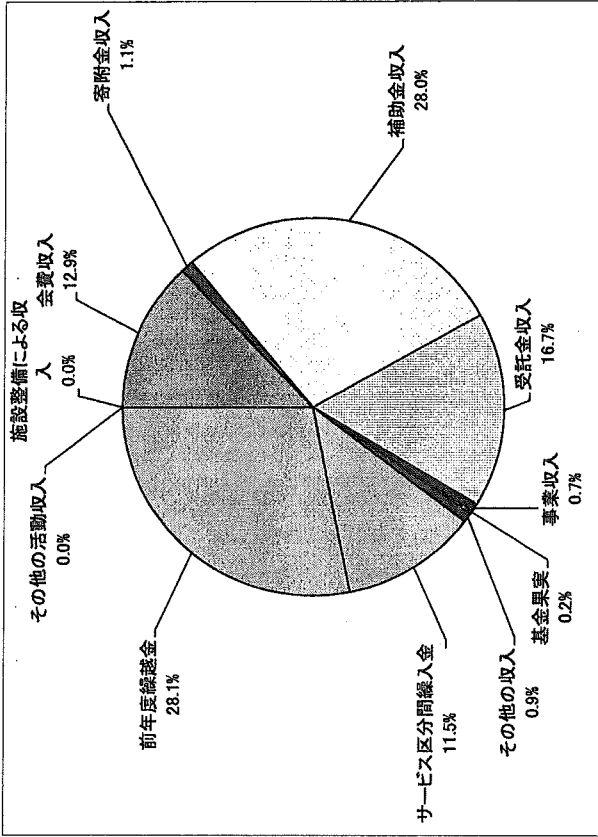
平成28年度の予算総額は184,083,000円です。27年度と比較して約140万円、率にして0.9%の減とほぼ同額の予算となっています。

- ・収入では、横浜市民ガイドボランティア事業実施に伴い、市町村補助金に701,000円計上しています。
- ・支出では、共同募金配分とみんなの助成金配分の一部が法人運営からの直接執行としましたので減となっていますが、実質的には27年度とほぼ同額の見込みです。

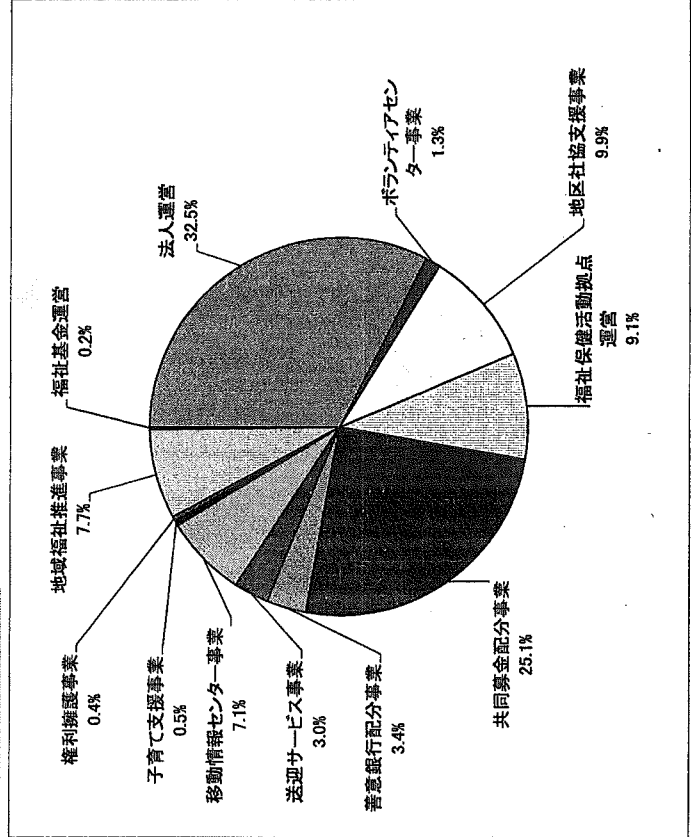
財源別収入項目	27年度予算額	28年度予算額	割合	増減額	説 明
会費収入	23,086	23,686	12.9%	600	
寄附金収入	2,000	2,000	1.1%	0	
補助金収入	50,895	51,469	28.0%	574	
市町村補助金	-	701		701	移動 701
市社協補助金	14,550	14,364		△ 186	
県社協補助金	200	100		△ 100	
共同募金募金配分金収入	36,145	36,304	19.7%	159	
受託金収入	30,697	30,727	16.7%	30	
市区町村受託金	23,212	23,522		310	
都道府県受託金収入	-	3,940		3,940	法人運営
市社協受託金収入	7,485	3,265		△ 4,220	送迎2951,あんしん114,地域200
事業収入	1,273	1,296	0.7%	23	
基金果実等	378	376	0.2%	△ 2	
その他の収入	1,710	1,582	0.9%	△ 128	分担金、負担金、雑収入
サービス区分間繰入金	22,768	21,146	11.5%	△ 1,622	
前年度繰越金	49,451	51,801	28.1%	2,350	
その他の活動収入	902	-	0.0%	△ 902	
施設整備による収入	1,780	-	0.0%	△ 1,780	
収入合計	184,940	184,083	100%	△ 857	

事業別支出項目	27年度予算額	28年度予算額	割合	増減額	説 明
法人運営	58,805	59,845	32.5%	1,040	
ボランティアセンター事業	2,059	2,392	1.3%	333	非常勤給与の増
地区社協支援事業	19,943	18,134	9.9%	△ 1,809	
福祉保健活動拠点運営	16,726	16,719	9.1%	△ 7	
共同募金配分事業	47,893	46,133	25.1%	△ 1,760	
善意銀行配分事業	5,699	6,222	3.4%	523	
送迎サービス事業	5,845	5,477	3.0%	△ 368	
移動情報センター事業	9,591	13,007	7.1%	3,416	ガイドボランティアに伴う人件費、諸謝金の増
権利擁護事業	926	869	0.5%	△ 57	
地域福祉推進事業	200	655	0.4%	455	
みんなの助成金配分事業	15,883	14,254	7.7%	△ 1,629	
福祉基金運営	1,370	376	0.2%	△ 994	
支出合計	184,940	184,083	100%	△ 857	

収入財源の内訳



事業別支出の内訳



(単位:千円)

18

